

利用手順マニュアル Ansible-driver 別紙 Ansible利用ガイドライン ITA追加ルール

一第1.4版一

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ・Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。 なお、®マーク、TMマークは本書に明記しておりません。 ※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Ansible利用ガイドライン(ITA追加ルール)

No. 項目		蒙当モー Role		ITA取り込み可能例	ITA取り込み不可例	ルールに準拠しな い場合の影響機能	影響導象	エラー表示例
変数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ定義問題の記載ルールはAnable ルールに準ずる 半角大ス字 ユーザ定義 {	0	0	0	- name: ファイル内容検認 command: cat / tmp/{ VAR;SAMPLE }	- TistはTiと変数のDMITI#6月スペースかない command.cd / trup (TVR 2AMPLE) かない Command.cd / trup (TVR 2AMPLE) - TistはTistと数をの間の「中央スペースか2個以上ある command.cd / trup (TVR 2AMPLE) - Command.cd / trup (TVR 2AMPLE) - では、TVP (TVR 2AMPLE) - Command.cd / trup (TVR 2AMPLE) - Command.cd / trup (TVR 2AMPLE) - Command.cd / trup (TVR 2AMPLE) - 変数をが1297年以上ある	代入值管理	・登録の場合 Movementを選択しても変数名に候補として表示しませ 作業表刊時に変数表定義のエラーとなります。 更新の場合(代入信管理登録後にITA追加ルール外の 記載の対めたのは、翌朝して場合) 系表にます。 表示にます。 作業を表示していませんが、 を表示により、 を表により を表により を表により を表により をまる をまる をまる をまる をまる をまる をまる をまる をまる をまる	選者 ポペレーション* Movement* ガスト* 文数名* (BBAJ) 10011113 rdm 11314 rdm 149/avy (189/ard face 1) Movementを記が、する1
2 ITAWebJI上のテンプレート管理メニューでテンプレート素材を登録をする際。 テンプレート構造変数名の接頭文字をTPF-とし、TPF-を含め256ByteJJ内とする。	0	×	×	アンブレート連込を置名(テンブレート表材 TPF_SAMPLE sample_bst	TPE.SAMPLE	テンプレート管理	登録画面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 温加ルールに準拠しないヤンブレート埋込変数名は登録 できません。	Total to State Colored
アップロードレデンプレート素材をplaybook内で指定する場合は、playbook内の変数を以下とする。 ************************************	0	×	×	- name: ファイル起源 template: src= TPF:SAMPLE dest=/tmp/SAMPLE.txt	「『重先は『』と意義名の際に「非角スペース」が気い template sree*[IPF SAMPLE] Gest-7km/SAMPLE but template sree*[IPF SAMPLE] Gest-7km/SAMPLE but 「『』または『』を数名の際の「半角スペース」が登録以ある template sree*[IPF SAMPLE] dest-7km/SAMPLE Jut SAMPLE II ・掲載文ギロア・Jが小文ギュなってしる ・掲載文ギロア・Jが小文ギスが、Jut Sample II dest-7km/SAMPLE but に関数文ギロア・Jがは、 に関数文ギロア・Jがは、 は関文ギロア・Jがは、 は関数文ギロア・Jがは、 は関数文ギロア・Jがは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	テンプレート管理	登録したテンプレート素材への直接が行われません。	■ 連行状況(エラーログ) フィルタ: 「日本部件のみ巻章 「Fringhon-ファイル(template.ysi)の対目のtemplateモジュールのいで「フメータを配送するまたは無理されている実験が下去。
# ITAWebULEのグローバル変数管理メニューでグローバル変数を登録する際。 グローバル変数名の接続文字をGBLとし、GBLを含め128Byte以内とする。	0	0	0	グローバルを放名中 最終集中 GBL_SAMPLE sample.bd	GBL,SAMPLE	グローバル変数管理	登録画面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 通加ルールに準拠しないグローバル変数名は登録できません。	WAS TO SHOULD BY STORY OF A
グローバル変数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ定義原圏の記憶ルールはAnableルールに準ずる #角大文字 ユーザ変義 【【 GBL ※ ※ ※ ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0	0	0	- name: ファイル内容視聴 command: cat / tmp/ [GBL_SAMPLE]]	・接続文字(GBL)が小文字になっている command cat /tmp/fl 点 SAMPLE 】 接続文字(GBL)の7 jが会は、 実数名が129文字以上ある	グローバル変数管理		・接続文字のGL)がルールに準拠してない場合 ####ZERECTO Dassicode ***Confict Trans Dassicode ***ENERGIZODE Dassicode **ENERGIZODE Dassicode Agent Trans Dassicode Agent Trans Dassicode
■ ITAWebliLEのファイル管理メニューでファイル思込変数を登録する際、 ファイル理込変数名の接頭文字をOPFとし、CPFを含め256Byte以内とする。	0	0	×	<u>ファイル</u> 悪込会を会 CPF_SAMPLE sample_bd	OPF.SAMPLE	ファイル管理	登録画面でパリデーションチェックを行っているので、ITA 温加ルールに準拠しないファイル埋込変数名は登録できません。	MAY SHOOMED S
ファイル性込変数を使用する際、playbook内の変数を以下とする。 ※ユーザ定義範囲の記載ルールはAnableルールに挙ずる 7 【 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	0	0	×	- name: ファイル程置 copy: wro=[[OPF.SAMPLE]] dest=/tmp/SAMPLE.txt	・「『または"」と変数名の間に「半角スペース」がない cop: sc=[OP SAMPLE] dest=/tmp/SAMPLE.bt dest=/tmp/SAMPLE	ファイル管理	作業集行時にファイル埋込変数の直換が行われないため エラーとなります。	+ 接続上を整名の間の半角スペース、または特部文字(OFF)がルールに単していない場合 単純技術的のファイル 「中国の大きないる」 「中国の大きな
Annible-LeggcyRoleコンソールでアップロードするロールパッケージファイルは 「roles」のある階層のディレクトリをopiこで圧縮したもの(右記記載例参照)を用意する。	×	0	×	2	-roles F-74-73-136-53.\\ = 7-0-25 F-74-73-136-53.\\ = 3000000000000000000000000000000000000	ロールバッケージ管理	事前アップロード時に警告を表示します。	ロール/シケーシファイル(江戸形式) FRICE_AutoCapaule_deabledscampleiNC(参照 専門アップロード アップロードRIC: rokesティレクトリがありません。

No. 項目	Legac	験当モード y Role Pioneer	ITA取り込み可能例	ITA取り込み不可例	ルールに準拠しない場合の影響機能	E TAR	エラー表示例
 各ロールのデフォルト変数定義ファイルで配列変数を定義する際の注意事項 ・単一ロールバッケージ ロールを誇って同じ変数名を使用しているが配列変数の火バー変数の定義が違う際 ロールを誇って同じ変数名を使用しているが配列変数と一般の変数が混在している所 ンアップロード時にエラーとがります。 全ロールバッケージ ロールバッケージ ロールバッケージ は一別 は「シール・ジャーンを持って同一変数名を使用しているが配列変数のメンバー変数の定義が混る は「必要」のアップロード時にエラーとなります。 	× 脆が	O ×	別シート【配列変数を定義する際の注意事項】参照	別シート[配列変数を定義する際の注意事項]争照	・単一ロールパッケージ ジョールパッケージ管 ・全ロールパッケージ管 ・全ロールパッケージ管 理	・単一ロールパッケージ ロールパッケージを登録できません。 ・・全ロールパッケージ	- 単一ロールパッケージ ロールパッケージを ロールのの含意を達力アイルに登録されている意識の定義が一致していません。 変数:VAR SAMPLE ロール名 roles/role2 roles/role1 項語 ロールパッケージを ロールパッケージファイル(219形式) ・・全ロールハッケージ 他のロールパッケージを 他のロールパッケージを のよるMPLEの定義が一致していますが、変動の定義が一致していません。 変数:VAR SAMPLEの定義が一致していないロールパッケージ ロールパッケージ rolest ロールrolest コロールパッケージス・ロールパッケージファイル(219形式)
10 ・配列変数を使用する際は、defaultsディレクトリのmain.ymlに右記記載例を参考に記 ※最低1行は定義必須	する×	0 ×	[defaults/main.yml] VAR.01: -[VAR.SAMPLE.01: "001", VAR.SAMPLE.02: "002"] -[VAR.SAMPLE.01: "101", VAR.SAMPLE.02: "102"]	[defaults/main.yml] VAR.01:	代入值管理	配列変数として認識されないので、メンバー変数に値を設定することができません。 作業実行時にメンバー変数未定義のエラーとなります。	登録 オペレーション Novemet*
11 横菜コードの基本書式におけるインデントは2倍数で調整する	0	0 0	- △name: サービススクリプト配置 △1 template: △△ △ △ A ore: " item.re: " △△ △ △ dest: " item.dest: " 〜	・インテントが登機数になっていない - △ name: サービススソリア配置 △ Δ ctemplate: △ △ Δ cere: "it temsers" " - △ △ Δ cest: "it temdest!" - ペ語・ - 本名 △ ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	作業実行	作業実行時に想定外エラーとなります。	■ 進行状況(エラーログ) フィルタ: □ 即当行のみ表示 デジュテロシフィル(0000000000 Indext、yal)の計算のインデントが下去。 デジュテロシファイル(0000000000 Indext、yal)の計算のインデントが下去。

配列変数を定義する際の注意事項

No.	ロールパッケージ	roles	defaults/main.yml	動作	記載内容
1 サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ	
	922/001	В	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" }		・メンバー変数の記載順序が同じ
2	2 サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ ・メンバー変数の記載順序が異なる
2		В	VAR_SAMPLE: - {		
2	3 サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ
3		В	VAR_SAMPLE: - {	^	・配列変数のメンバー変数の定義が異なる
4	4 サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ ・一般の変数と配列変数が混在している
4	9,22,001	В	VAR_SAMPLE: aaaa		
5	サンプル01 サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ
J		A	VAR_SAMPLE: - {	O	・メンバー変数の記載順序が同じ
6	6 サンプル01 サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - {	0	・変数名が同じ・配列変数のメンバー変数の定義が同じ
U		Α	VAR_SAMPLE: - {	O	・メンバー変数の記載順序が異なる
7	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ
,	サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: - {	^	・配列変数のメンバー変数の定義が異なる
8	サンプル01	Α	VAR_SAMPLE: - {	×	・変数名が同じ
U	サンプル02	Α	VAR_SAMPLE: aaaa	,,	・一般の変数と配列変数が混在している

ITAで取り込めるAnsibleのRole応用例

No.	変数	モジュール/模文	動作内容	ディレクトリノファイル					
NO.	X.M	モンユール/無义	朝作が母	defaults/main.yml tasks/main.yml templates/※※※.tx					
1	一般変数	with_items	一般変数を使用した with_itemsモジュール	VAR_test: SAMPLE	- name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/l[tem]] with ;tems: - "[[VAR_SAMPLE]]"	-			
2	一般変数	if	一般変数を使用した if構文	VAR_SAMPLE: True	- name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 template: src=var_array_sample.txt dest=/tmp/※※※.txt	係 if VAR,SAMPLE is defined and VAR,SAMPLE == True 別 出力したい文字 係 endif 制			
3	配列変数	with_items	配列変数を使用した with_itemsモジュール	VAR.SAMPLE: - [VAR.001: "asaa", VAR.002: "bbbb"] - [VAR.001: "cccc", VAR.002: "dddd"] - [VAR.001: "eeee", VAR.002: "fffff"]	- name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/"[[item.VAR.001]]" with items: - "[[VAR.SAMPLE]]" - name: ファイル内容確認 shell: cat /tmp/"[[item.VAR.002]]" with items: - "[[VAR.SAMPLE]]"	-			
4	配列変数	for	配列変数を使用した for構文	VAR_SAMPLE: - { VAR_001: "aaaa" , VAR_002: "bbbb" } - { VAR_001: "cccc" , VAR_002: "dddd" } - { VAR_001: "eeee" , VAR_002: "ffff" }	- name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 template: src=var_array_sample.txt dest=/tmp/※※.txt	[\$ for tmp_SAMPLE in VAR_SAMPLE \$] [[tmp_SAMPLE.VAR_001]] [[tmp_SAMPLE.VAR_002]] [\$ endfor \$]			
5	配列変数		配列変数を使用した forl構文及び if構文でのループ制御	VAR.SAMPLE: - [VAR.01: 1, VAR.02: 001] - [VAR.01: 0, VAR.02: 002] - [VAR.01: 1, VAR.02: 003]	- name: ループと条件分岐の応用例 shell: レープと条件分岐の応用例 (% for tmp_SAMPLE in VAR_SAMPLE %) (% if tmp_SAMPLE.VAR_01 == 1 %) echo () tmp_SAMPLE.VAR_02]) (% sles) true (% endif %) (% endif %)	-			
6	配列変数	for if	配列変数を使用した forl構文及び iř構文でのルーブ制御	VAR SAMPLE: - [VAR 01: 1 , VAR 02: 001] - [VAR 01: 0 , VAR 02: 002] - [VAR 01: 1 , VAR 02: 003]	- name: 配列変数を仕込んだテンプレートを配置 template: src=var_array_sample.txt dest=/tmp/※※※.txt	[% for tmp, SAMPLE in VAR, SAMPLE %] (% if tmp, SAMPLE.VAR, 01 == 1 %) echo (tmp, SAMPLE.VAR, 02) (% else %) true (% endif %) (% endor %)			